

広報ひがしの

人口1657人
(男)832人
(女)825人
633世帯
(R4.3.1現在)



保古の湖

令和3年度ふるさと写真展入賞作品

撮影 青木孝義氏 令和3年11月

東野の魅力UP!



阿木川ダム

令和3年度ふるさと写真展入賞作品

撮影 井戸哲也氏 令和3年9月



東野美林（東濃ヒノキ）

令和2年度ふるさと写真展入賞作品

撮影 青木孝義氏 令和2年6月



ふれんどりー・阿木川湖



明知鉄道

令和3年度ふるさと写真展入賞作品

撮影 三宅あや子氏 令和3年5月

東野の地域資源

- 「観光」では保古の湖、阿木川ダム
- 「史跡」では縄文遺跡、西行史跡五輪の塔など
- 「食」では五平餅、朴葉ずし、からすみなど
- 「特産品」では東濃ヒノキ、東野の米など
- 「文化遺産」ではシクラメン、村歌舞伎などがあります。

東野の目指す地域像

これは、平成十六年の合併を機に住民アンケートにより生まれた東野の目指す地域像です。

東野住民のみなさんは、この地域像に向けて、東野地域自治区運営協議会を中心に地域資源を掘り起こし利用してきました。その地域資源については、「観光」「史跡」「食」「特産品」「文化遺産」の五つの領域に焦点をあてて具体化されています。

過去から受け継がれてきた美林、そこから生まれる清水・・・この恵まれた自然環境の中で各世代が“ふれあい、助け合い”人と物を大切にする地域を目指す。

観光

【保古の湖】



保古の湖から恵那山を望む



大正の初めに農業用水の溜池として造られた湖です。昔は冬になると全面に氷が張り、四百メートルリンクが四つもとれる大きなスケート場ができたものでした。シーズンになると多くの人がスケートに訪れにぎわったものです。麓の東野の里では来客を迎える民宿が何軒もできました。また、周囲の自然環境を活かしてキャンプができる魅力あるスポットでもあります。

【阿木川ダム】

市街地に最も近いダムとして阿木川ダムが平成二年に完成しました。ダム湖そのものも貴重な観光資源です。ダムを周回する遊歩道も整備され、休日にはジョギングや散歩する人も多く訪れます。春は桜が見事に咲き誇り、風光明媚なところですよ。

史跡

【縄文・弥生遺跡】

染戸遺跡、大野吾遺跡など縄文から弥生時代の遺跡があり、この地が当時、東西の交流地であったことを示す出土品もあります。

【西行史跡】

平安末期から鎌倉時代の最初にかけて歌人として活躍した僧、西行に關わる史跡が点在しています。阿弥陀堂、竹林庵、花無山、杉山の清水などです。

【五輪の塔】

南北朝時代の歴史秘話も伝えられており、五輪の塔などの史跡はその時代に関わりのあるものです。

【五平餅】

五平餅は東野だけの特産品ではありませんが、東野のお米で作った五平餅は格別においしいです。

食

【朴葉ずし】

朴葉ずしにはなくてはならない朴葉の葉っぱは、東野ではどこどこに自生していて、容易に手に入ります。そういうこともあり、地元の食の特産品になっています。



【からすみ】

米粉をねって、型（富士山）にはめて、蒸して出来上がり。味付けや蒸し具合によって好みのからすみが出来上がります。この地方独特の昔から伝わる伝統的なお菓子です。

特産品

【東野の米】

飯沼川と阿木川、そして定蓮寺川のきれいな水と、花無山や保古山の麓から流れ出た扇状地である土質で育ったおいしいお米です。



【東濃ひのき】

江戸の昔、山火事で東野の山は草山になってしまいました。その後、金原明善翁の働き掛けもあり、村林計画が作られ、計画的な植林が始まりました。その後、下刈り、枝打ち、間伐と手入れをし、次第に東野は美林の村となってきました。



文化遺産

【シクラメン】

日本におけるシクラメン栽培の創始者は、ここ東野の伊藤孝重氏です。伊藤氏は、大正時代に大井タムノ技師の婦人の示唆をうけ、シクラメンの栽培に成功しました。その後、千藤恩三氏らが全国に広めました。特産品というより、文化遺産と呼んだほうがよいかもしれません。



【村歌舞伎】

江戸時代から受け継がれてきた村で唯一の娯楽でした。現在は、その伝統を東野歌舞伎保存会が受け継いでいます。

東野の魅力づくり(地域おこし)の取り組み

このような地域資源を生かして、「東野開発振興会」を中心に各種団体が連携し、東野の魅力づくりに取り組んでいます。

【夏祭り】八月、コミュニティセンターの駐車場を会場にして、夏祭りが行われます。この時は、全国的なお盆の時期に近いので、東野へ久しぶりに帰ってくる人も参加して熱い一夜になります。最後の花火大会は見ものです。



夏祭りの様子

【ホタル祭り】定蓮寺川の清流の流れにホタルの幼虫を放流し、六月には住民参加のホタル祭りを実施して住民同士のふれあいを大切に行っています。

【村歌舞伎】毎年、東野歌舞伎保存会が秋に歌舞伎公演を開催し、村歌舞伎の伝統文化の継承に努めています。

【音楽祭】小学生全員が参加した音楽祭は、町外からも多くの方々が参観され、盛大に盛り上がります。

【運動会】地域住民が赤・白に分かれて競い合います。のどかな里が熱くなる年に一度のイベントです。

地域の観光資源を生かした取り組みとしては、「ふれんどりー・阿木川湖」と「恵那山荘と保古の湖周辺の利用」の二つが挙げられます。

また、歴史資源の利用では、三学委員会の地域勉強会で史跡などの掘り起こしを行い、地域に情報発信をしています。

【ふれんどりー・阿木川湖】

ダム周辺の空き施設を借り受け地元の農産物や特産品を販売する「ふれんどりー・阿木川湖」を東野の皆さんが運営をしています。ここでは、コーヒー・そば・うどんなども提供しており、ゆっくりくつろげる魅力あるところです。

【保古の湖周辺の活用】

保古の湖周辺は、恵那市と中津川市にまたがる県立自然公園で岐阜県唯一の国民休養地として利用されています。

【市民三学東野委員会】

この委員会では、地域の歴史的資源を学び、を通して地域・東野に愛着を持ち、地域のために活躍する人材を育てることを目的として活動しています。





東野のさらなる魅力アップ

【WRC】

令和三年度は、残念ながら新型コロナウイルス感染症防止のために中止になってしまいましたが、今年度こそ世界のラリーカーが保古の湖を走るのを見たいものです。

ラリーの見学には様々な制約がありますが、世界大会がこの東野で開催されるのはまたとないことです。

コースについては、小野川の番屋林道東口の下あたりからスタートして、恵那山荘までの国道413号線は「WOMEN'S RALLY IN 恵那」で使用されており、これをベースにした設定がなされるのではないのでしょうか。

途中、ほとんど観戦場所がないのが残念です。

しかし、この絶好の機会を利用して、地域を盛り上げることにつながっていくたいものです。皆様のご支援をよろしくお願いします。

【グランピング】



保古の湖周辺の自然豊かな環境を利用して、これまでもキャンプやマレットゴルフなど自然を満喫できる取り組みをしてきました。この度、その活動をさらに推し進めるためグランピング場を整備することが決まりました。

ここを拠点として、観光・史跡・食・特産品などの東野の地域資源を生かした取り組みを発信することで、地域の魅力アップが期待されます。

東野を応援してください！！

～ふるさと納税～

市外、県外にお住まいの方々に、わがふるさと「東野」の応援をお願いしてください。いただいた寄付金は東野のまちづくりに活用されます。応援寄付金は「ふるさとチョイス」でのお申込みが便利です。

商品は「ふるさとチョイス」ホームページからお申込みいただけます。

<https://www.furusato-tax.jp/city/product/21210>



恵那市 ふるさとチョイス

検索



東野をみんなで応援しよう

東野の魅力をアップさせるには住民の皆さんの応援が必要です。

今は、コロナ禍で活動ができにくいですが、元に戻れば、たくさん活動できます。

少しでもいいですので、地域にかかわることは何でも積極的に参加してください。どんなに些細なことでも結構です。たくさんアイデアをください。そのことが地域を元気にします。

左記のようにふるさと納税にご協力いただければ、さらに心強いです。

地域を知る・東野を知る

本来、保古の湖は農業用の溜池として造られ、東野の地蔵平や白坂の開墾地に水を供給し、米の収穫量を倍増させてきました。

保古の湖は溜池としての役割はもちろんのこと、冬は寒く、夏は涼しいその立地条件を生かして、冬季にはスケート場として、夏季にはキャンプ場として利用されてきました。



大正十四年に保古の湖（当時は保古池と呼んでいました）工事が完成し、大きな人工湖ができました。本格的なスケート場が昭和

二十六年に始まり、翌年にはキャンプ場がオープンし、保古の湖周辺に売店ができ、大勢の観光



客でにぎわいました。東野の里にも多くの民宿ができました。

観光地としての保古の湖

これまでの保古の湖周辺



具体的には、グランピングを中心としたアウトドアレジャーの拠点です。

「せっかくの観光資源である保古の湖を再生できないか。」保古の湖に携わる人々の思いを受け、保古の湖周辺は、今年の四月より変わろうとしています。



以来、スケート場、キャンプ場を皮切りに徐々に観光としての保古の湖が整備されてきました。

これまでに、保古の湖スコートや運動広場、マレットゴルフ場などの運動施設、ボートなどのレクリエーション設備等、多くの観光施設が設置され、賑わってきました。

最近になり、それぞれの施設の老朽化もあり、また、人々の趣向の変化もあって、かつての賑わいがなくなってきました。

これからの保古の湖周辺

様々な催しが行われます。キャンプ場はそのままですが、その付近にブッシュクラフト体験ができるサイトが設置されます。ボート乗り場やマレットゴルフ場はそのまま利用されます。そのまますぐに活用されます。グランピング場は四月二十七日オープン予定です。



グランピング場イメージ図

グランピングとは・・・

テント設営や食事の準備などから解放された手ぶらで行く豪華なキャンプの事です。グラマラス（魅力的）とキャンプングを掛け合わせた造語です。

地域資源を教材に



偉大なる山の富

里から遠い保古山は天然のままで、もみや松などの大木が茂っていました。天保年間の昼夜にわたる山火事のために立木の少ない草山となってしまいました。里に近い山は田や畑のこやし・糞・薪などを取るため、江戸時代の終わりには大きな木がない草山ばかりでした。

こんな東野の山を何とかしたいと考えた人々は、明治十三年洞沢に杉の植林を行いました。面積は三町歩でしたが、それが、東野で最初の植林でした。

明治二十九年に東野村山林保護規定が

でき、奥山の杉、ひのき、さわら、松、もみ、つが、ひめこ松、栗は切らないこと、学校建設の費用のため杉、ひのきを植えることを定めた。



しかし、草刈り場がなくなるとか、日当がもらえない植林はやりたくないとかで、山までもっていった苗木を捨てるとかなどの反対運動もあって進まなかった。

こんなとき明治四十年、金原明善が東野に来て、植林の大切さ、水源涵養林の意味を説きました。明善の話に感動した村人はこれを記念して、大せぎ近くの山本と花無山の南深沢に各五町歩の植林を行った。そして、これを金原林と呼んだ。

この頃から村民は植林に力を入れ始め、明治四十四年に村有林計画が作られ、計画的植林が始められました。

かくして東野は次第に美林の村となってきました。

その後、東野開発振興会の中の組織の森林組合で山の世話をしてきました。

昭和四十七年に、振興会から森林組合が独立して、東野生産森林組合となりました。

東野小学校5年生の間伐体験

その後、今のように東野生産森林組合と上・下の生産森林組合の三つの組合が東野の山を分担して管理してきました。

これまで、山の木のおかげで東野はすいぶん潤ってきました。

東野の大切な資源である山の富を次世代につなげようと東野小学校5年生が毎年間伐体験をしています。今年も、東野生産森林組合の方々や赤尾さんの支援を受けて、間伐体験をしました。手ごろな木を見つけるのに苦労していましたが、全員間伐することができ、貴重な体験学習となりました。



ふるさと作品展

今年も小学生や中学生、そして学校関係者の皆さんの協力を得て、「コロナ禍の中であっても、無事に書き初め展（ふるさと作品展）を開催することができました。百名近い参観者もあり、小学生、中学生の頑張りを地域の皆さんに見ていただきました。

当初より、この書き初め展を「ふるさと作品展」とあえて呼んでいます。

右下の詞は、東野小学校校歌の三番の歌詞です。東野小学校の書き初めの課題は、三年生「ひがしの」四年生「豊かな心」、五年生「保古の湖」、六年生「希望と夢」です。この毛筆課題は、校歌の歌詞からとっています。

校歌の一番の歌詞には、「・・・東野は歴史の中にいきている。」、二番には、「なかまの山の光る木々・・・」などの豊かな歴史と東野美林などの郷土の宝がうたわれています。いわば、校歌は郷土を映す鏡です。その校歌から文言を借りて書き初めの課題にするところが、「書き初め展」を「ふるさと作品展」と呼ぶゆえんです。



東野小学校校歌（三番）

作詞 古山新資

東雲 映す 保古の湖

希望と夢が うずとまぐ

豊かな心 じょうぶな子

ひがしの われら 小学校



「書き初め展」を「ふるさと作品展」と呼ぶゆえんです。書き初めを通して、郷土愛を育むという大切な心が、その心を大切にしたいです。

東野地域安全パトロール（4・5月）

金曜日16:00～17:00

4 月	
8日	東野開発振興会
15日	東野開発振興会
22日	東野自治連合会（上）
5 月	
6日	東野自治連合会（下）
13日	東野小学校PTA
20日	恵那東中学校PTA
27日	東野こども園育友会



寅

宮の前の河村志賀子さんから今年の干支である寅の置物を貸していただきました。自作の陶器の焼き物です。（階段の踊り場に展示してあります。）

花無山句会自選句

（令和三年六月十八日）

- 遠く住みスマホで届く雪景色 市川 芳子
- 熱燗を兄弟久に酌み交わす 内木伊都子
- 屋根の雪頭の上に滑り落ち 千藤 猛司
- 節分や頭と尻尾のない鰯 千藤 恵三

前期市民講座の受付 4/16（土）9時～

詳しくは東野コミュニティセンターまで
お問い合わせください。

東野コミュニティセンターで開催の講座一覧

講座名	対象	講座内容	回数	時間/受講日
セルフマッサージ	一般 10名	手のひら、足裏、顔など。いつでもどこでも出来る、セルフマッサージで体調を整えます	2	10:00～11:30 初回 5/17
スポーツ吹矢	一般 5名	集中力を高め、健康増進・ストレス解消を図りましょう	5	13:30～15:30 初回 5/10
季節の和菓子 いちご大福	一般 8名	和菓子でほっと一息！旬のいちごを使ってプロのコツを伝授！	1	9:30～11:30 5/11
おうちパン	一般 8名	手軽に簡単！美味しいパンを作ってみましょう	2	10:00～12:00 初回 5/18
座ってできる！ シニアのいすヨガ	65歳以上 10名	優しい動きが気持ちいい！椅子を使って簡単・気軽にできます	8	10:00～11:30 初回 5/25
恵那の家庭料理 ほおば寿司	一般 8名	季節の定番料理、ほおば寿司。ほおばの香りを楽しみながら作りましょう	1	9:30～11:30 5/26
季節の野菜を使って！ 【パート1】夏野菜いろいろ	一般 8名	なす、ピーマンなど、季節の野菜を和・洋・中にアレンジ	1	9:30～11:30 6/23
季節の野菜を使って！ 【パート2】かぼちゃを丸ごと使っちゃお	一般 8名	かぼちゃを丸ごと1個、メイン・サブ・デザートにと無駄なく使います	1	9:30～11:30 7/28
体が安らぐ！ プレスウオーク&バレトン	一般 15名	有酸素系の運動プログラム。初心者でも楽しめる新感覚エクササイズ！	8	13:30～15:00 初回 5/12
楽しく歩こう！ 東野散歩	一般 20名	皆さんと一緒に話しながら、軽やかウォーキング	8	10:00～12:00 初回 5/13
囲碁（初心・初級）	一般 6名	囲碁で脳トレを楽しんでみましょう	8	14:00～16:00 初回 5/7

発行

東野コミュニティセンター ☎二六―二五五五
東野地域自治区運営協議会 ☎二六―二三四四



消火訓練の様子

（火）、東野コミュニティセンターで防災訓練を実施しました。
一階の調理室から出火したと想定し、避難誘導訓練、消防署への通報訓練、消火器による消火訓練などを滞りなく実施することができました。
ちようど民生委員会を二階の会議室で行って見えたので、参加者九名にも協力をいただいて、避難・誘導訓練が実施できました。
その後、コミュニティセンターと振興事務所の職員と、民生委員の一部の方で水での消火器を使い、消火訓練（写真）を行いました。
この時期、乾燥した日が続く火災が起きやすくなります。火の元には十分気を付けてください。



火の用心！